

「2012 秋の交流会」について (案)

茅渟関連・倉田

1. 「交流会」の歴史

「交流会」開催の当初の目的は、年に1回の「関連本大会」だけでは、すべての会員が仕事や家庭の都合で参加できない。「本大会」に参加できない会員のために、もう1回「本大会」とは違う場所で大会を行い、交流を深めようと言う物だった。

何年か開催してきたが、顔ぶれがあまり変わることなく、開催の主旨に疑問がわいてきた。

話し合った結果、関連に加盟していないクラブ、一般の釣り人との交流の場として、オープン大会形式として開催して行く事が決まった。

オープン大会形式として、何年か沖波止で開催してきたが、関連に加盟していないクラブとは親交を深められたが、一般の釣り人の参加が、何年やっても変わらない。

そこで、「2012 交流会」は新たな挑戦をしようと思う。

2. 「2012 交流会」の主旨

◎ 「地波止」で開催

私達は釣りに行く時、渡船を使って沖波止へ釣行する事が圧倒的に多い。そこで知り合う釣り人とは、気軽に言葉を交わして親交が深まるが、大阪湾はチヌの魚影の濃さから、沖波止でなくても、地波止でも十分チヌが釣れる。そんな釣り人とは接点が全くないと言っても過言ではない。そんな釣り人と交流の場を持つ事を前提に、「安全に対する意識」、「釣り場と魚の保護」を、私達釣り人全体で推奨していきたい。

※ 今回のエリアとしたい場所 (通称名)、(駐車場 有・無)・・・別紙 地図参照

- ① 常吉大橋・西詰 (舞洲・常吉大橋・下)、(駐車スペース・有)
- ② 夢舞大橋・北詰 (舞洲・バリカン、プロムナード)、(有料駐車場・有)
- ③ 港大橋・南詰 (湾岸線・港大橋・下)、(駐車スペース・有)
- ④ 南港フェリー乗場・北 (南港フェリー乗場・エサ取場)、(駐車スペース・有)
- ⑤ かもめ大橋・一帯 (かもめ大橋)、(無料駐車場・有)
- ⑥ 南港コスモスクエア海浜緑地 (時空館・横スリット)、(有料駐車場・有)

◎ 「大阪市港湾局」との駆け引き

数年前、「大阪北港」において釣り人の落水死亡事故が発生し、裁判へと発展した事は、まだ記憶に新しい。結果は釣り場として開放する所、工事中などの理由で解放しない場所と

に分けられた。あれからも「大阪市港湾局」との折衝は、毎月 1 回続いております、我々釣り人はより多くの場所の解放をせまっている。それに答えるべく、上記⑥などが解放されたわけだ。私もそんな「大阪市」と良好な関係を保ちたい訳だが、我々釣り人は、救命具の着用やゴミの放置禁止などの、社会のルールを守って釣りを楽しんでいる姿を、ここらで 1 回見せつけておきたい。今後の会議で、釣り場開放に向けて主張しやすくなると思う。

◎ 「大阪の釣り文化は波止釣り」

大阪は大都市ゆえ、海岸線がほぼコンクリートで固められ、釣り場としては波止しかないと言断言できる。そんな場所での釣り対象魚で、人気があるのがチヌである。また、そんな形状から「落とし込み釣り」が発展してきた。昨年、「朝日新聞」にも「大阪の文化」として、「落とし込み釣り」が取り上げられ、名実共に、「大阪湾は日本一、チヌの濃い海」として、今後も各方面にアピールしていくきっかけとしたい。「チヌの稚魚放流事業」も 30 年続いております、後世にも残していける、いろんな意味での資源にもなっている。

3. 運営について

今回は「関連」が主催するとか、「BAA」と共催するとかより、関西において初めての試みとして、多くの釣り仲間に賛同してもらいたい。この試みは、大手を振って関西でしか出来ない大会形式なので、各団体、各クラブより実行委員を出していただき、みんなで開催する方向をとりたい。

4. 日時について

日時は、9/23（日）開催予定。

- ◎ 大会説明時間（本部にて）・・・未定
- ◎ 安全講習時間（本部にて）（兵庫 JOFI 担当）・・・未定
- ◎ 大会開始時間・・・安全講習が終わり次第
- ※ 大会参加者は本部を出発。
 - ◎ 大会終了時間・・・未定
- ※ 本部に、大会終了時間までに、参加者は「審査カード」を提出する事。
 - ◎ 大会中の場所変わり（上記 6ヶ所内）・・・自由
 - ◎ 検寸時間（上記 6ヶ所にて）・・・随時
- ※ 上記 6ヶ所に、実行委員を最低 2 人配置し、随時検寸、安全管理を行う。
 - ◎ 結果発表、表彰時間（本部にて）・・・未定
 - ◎ 抽選会（本部にて）・・・未定
- ※ 抽選会の目玉として、高額商品を 1 点準備する。
 - ◎ 食事会（本部にて）・・・未定
- ※ 食事会を開催するのならば、弁当よりも炊き出しがベスト。

- 14. **注意事項**・・・大会参加者は、救命具および救命補助具の着用を義務付ける。
 - ・・・当日の事故等については、短期傷害保険の適用範囲を超えるものは、主催者としては責任を負いかねる。

- 15. **協賛**・・・各メーカー、各メディア、各団体、各クラブ、個人 いずれも受け入れる。

- 16. **チヌの稚魚放流募金箱の設置**

- 17. **大会告知の準備**・・・ポスターを作製し、各釣具店に貼る。

- 18. **実行委員会の設置**・・・約 20 名（各団体より、4、5 名）